

発刊にあたって

首都圏に位置する利便性の高い立地にある川崎市は、多摩川をはじめとする自然環境にも恵まれ、我が国有数の産業集積、市民の皆様や多くの企業・団体などとの協働による文化・芸術やスポーツのまちづくりなど、魅力あふれる都市として発展を続けています。国や多くの自治体が人口減少にあるなか、本市では人口増加が続き、本年4月には政令指定都市7番目の人口規模となりました。

一方、本市においても、当面は人口増加が続くものの、2025年から生産年齢人口が減少し、2030年をピークに総人口は減少へと転じることが見込まれております。そうした社会経済状況の変化に柔軟に対応し、「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき」を進める上で、精度の高い統計情報は、その基礎資料として大変貴重なものです。

この「統計データブック」は、「川崎市統計書(平成26年版)」及び「大都市比較統計年表(平成25年版)」などから、市民生活に関わりの深い統計情報を中心に、分野別、体系的に整理し、グラフや解説を加えて分かりやすく編集しています。

本冊子を通して多くの皆さんに活気溢れる本市の現況について理解を深めていただければ幸いです。

平成27(2015)年9月

川崎市長 福田 紀彦



